

一 般 質 問 通 告 事 項 【3月3日(火)】《2日目》

令和2年第1回松江市議会定例会

順序	議員名	三島 伸夫	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	3月 3日
質問項目	質問要旨				
1 市税について	(1) 市税全般について ア 人口減少のなかで、なぜ市民税が増加傾向になっているのか。納税義務者の減少はいつから始まるのか。また、固定資産税・都市計画税の今後の見通しについて。 イ 市税全般の徴収率が高いが固定資産税と都市計画税の徴収率が若干低い。どのように考えるか。 ウ 松江市債権管理条例の制定で非強制徴収公債権や私債権にどれほどの影響がある見通しか。 (2) 都市計画税について ア 都市計画税の目的税としての役割が終わっているように思うが固定資産税への統合についていかに考えるか。 イ 市街化調整区域の緩和地区に都市計画税の課税がなく不公平感がするがいかがか。				
2 公共交通(路線バス)について	(1) 日ノ丸自動車の米子-松江路線の廃止について ア 当初の廃止の申出からの折衝内容について イ 廃止理由の運転手不足について、恒常的に8人程度不足と言われているが、この数字の影響について ウ 代替運行の予定と規模の計画及び決定時期について (2) 松江市交通局の実態と今後の展望について ア 市営バスの運転手の不足人数と改善策、また交通局全体の人員計画について イ 経営健全化計画で採算と市民サービスの考え方及び今後の方向性について (3) 持続可能な移動手段の確立について(採算と市民サービスの両立について) ア 地域公共交通網形成計画の策定について				

順序	議員名	米田ときこ	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	3月3日
質問項目	質問要旨				
1 新型コロナウイルス等による肺炎への対応について	(1) 新型コロナウイルス肺炎が発症した場合、松江市内の検査機関は1日何人の検査が可能か伺う。連携協力可能な医療機関等はあるのかも伺う。また市内で何人が入院可能と考えているのか伺う。 (2) 外来受診の振り分けや特に夜間・休日の電話対応等は何人体制で行っているのか伺う。 (3) 接触者ルート特定のための体制は、どのように考えているのか伺う。現在の保健所体制で可能なのか伺う。応援部署の体制についても伺う。 (4) 中海宍道湖圏域での感染対策の連携協力はどのように考えているのか伺う。 (5) 未発生期こそ対応方法等の訓練が重要と考えるが、計画書に合わせて訓練実施の有無を伺う。課題を伺う。 (6) 感染予防対策として、毎年インフルエンザ等の啓発活動の内容及び効果について伺う。				

一 般 質 問 通 告 事 項 【 3 月 3 日 (火) 】 《 2 日 目 》

令和 2 年 第 1 回 松 江 市 議 会 定 例 会

順序	議員名	米田ときこ	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	3月3日
質問項目	質問要旨				
2 健康づくりの視点から魅力あるまちの実現について	(1) 自然と文化、食産物等が豊富にある松江の魅力を開発する方策として、観光と健康づくりとのコラボを実施している日本ヘルスツーリズム事業等があるが取り組む考えはないか伺う。 (2) まち歩きに更に体験・体感・お得感を味わう方策について伺う。 (3) 「スポーツによる健康で、明るく豊かなまちへ」の事業として「健康都市まつえ」宣言 10 周年記念事業のねらいとその効果、及び幅広い世代への意識啓発による機運醸成の評価指標はどのように考えているのか伺う。またどのようにしてまちづくりに活かすのか伺う。 (4) 健康づくり関連のボランティア団体への育成支援方針及び効果について伺う。 (5) まちづくりリーダーの育成方針について伺う。				
3 入札・指定管理者制度について	(1) 入札における加算制度、落札率による良質な入札の効果について伺う。 (2) 競争入札、指名入札のうち 1 件のみの入札件数を伺う。 (3) 地元企業の受注割合を伺う。 (4) 指定管理者制度の基本的なスケジュールは方針決定から指定管理開始まで、17 か月間とされているが現況について伺う。 (5) 非公募施設の評価は施設所管課が実施するが、主な問題や課題があるのか伺う。また課題の解決策について所管課はどのような支援策を行っているのか伺う。 (6) 指定管理者への指導、監査、協議等の年間実施回数について伺う。また指摘事項がある場合どのような点が多いのか伺う。改善状況についても伺う。特に労働条件の点検、改善の実施状況等について伺う。 (7) モニタリングや評価結果を分析し次期指定管理者選定に役立てるとされているが、どのような点が次期指定管理者選定に生かされ、運営の改善につながったのか伺う。 (8) 指定管理者のインセンティブを高め、適正な管理運営が行えるよう報奨金制度の導入の進捗状況について伺う。				

順序	議員名	貴谷 麻以	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	3月 3日
質問項目	質問要旨				
1 新型コロナウイルスへの対応について	(1) 全国と松江市の現状について伺う。 (2) 松江市の対策、またその理由について伺う。 (3) 松江市の情報発信の方法について伺う。 (4) 感染が疑われる場合の手続きや回復までの期間の目安について伺う。				
2 働きやすさと子育てについて	(1) 幼稚園、保育園の待機児童の状況と解消に向けての計画について伺う。 (2) 松江市の独自の取り組みがあるか伺う。				

一般質問通告事項【3月3日(火)】《2日目》

令和2年第1回松江市議会定例会

順序 9	議員名 貴谷 麻以	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	3月 3日
質問項目	質問要旨			
2 働きやすさと子育てについて	(3) 市職員における女性登用の計画と対応、年次計画を伺う。 (4) 市の男性職員の産休(出産補助休暇)と育児休暇の状況と考え方について伺う。			

順序 10	議員名 畑尾 幸生	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	3月 3日
質問項目	質問要旨			
1 医療について	<p>(1) 公的病院等の再編について</p> <p>国は、今後1年以内に再編・統合の結論を出すよう要請している。全国知事会や全国自治体病院協議会、地域住民などからの反発もある。</p> <p>公的病院の再編に関する市長の見解を改めて伺う。</p> <p>(2) 圏域での急性期、回復期、慢性期の病床数について</p> <p>今回の公表はともかく、圏域内で急性期、回復期、慢性期の方向性については、医療需要と病床の必要量を推計し、地域完結型医療の実現を目指すとして、急性期の病床数について、既に松江日赤はH22年からH28年までに131床、県立中央病院69床、松江医療センター48床を急性期から回復期へ転換、玉造病院でも36床が予定されている。</p> <p>既に目指すべき病床数の姿に再編していく方向になっているのか伺う。</p> <p>(3) 圏域の急性期病床数の調整について</p> <p>先日いただいた資料には「松江圏域」では急性期病床について2017年度、1,426床を404床減らし、2025年度1,022床とするとの説明を受けた。地域で今後どのように検討していかれるのか伺う。</p> <p>(4) 市立病院の病床数の減について</p> <p>市立病院でも令和2年度51床の削減が予定されている。</p> <p>これは、最近、病院の提供する医療サービスの性格が変わって、DPC係数(包括評価部分+機能評価係数)が導入されるなど薬や注射を売る小売り業からサービスを提供する(7・1看護)などサービスの内容を変え、充実させるため診療報酬体系が変わったことなどから病床稼働率について国の目安となる「稼働率」以上を目指す措置として理解してよいか伺う。</p> <p>(5) 包括医療費支払い制度(DPC)について</p> <p>市立病院の場合は医療収入ではどれくらいの比率になるのか伺う。</p> <p>(6) 市立病院への支援</p> <p>市立病院への市からの財政的支援は、平成30年度は11億54百万円余、うち地方交付税措置されたのは7億55百万円余、全体で支援された11億54百万円には公立病院の果たす役割について分野ごとに支払われたものとするが、主な適用分野について伺う。</p>			

一 般 質 問 通 告 事 項 【 3 月 3 日 (火) 】 《 2 日 目 》

令和 2 年 第 1 回 松 江 市 議 会 定 例 会

順序	10	議員名	畑尾 幸生	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	3月 3日
質問項目	質問要旨					
1	医療について	<p>(7) 医師の働き方改革について</p> <p>働き方改革関連法案では残業時間の年 960 時間が上限になり、医師については 2024 年から特例水準が上限 1,860 時間とされた。</p> <p>救急患者受け入れ数が年間 2,000 件を越す病院には「地域医療体制確保加算」が新設される。これが病院における医師の働き方改革の財源となるとされているが、市立病院において医師の働き方改革について具体的にどう取り組まれるのか伺う。</p> <p>(8) 人材不足にどう対応するか</p> <p>人口減少社会で各方面の人手不足が起きる。看護職でも医師に準ずる医療行為が可能となったとされているが、市立病院では、こういった資格の看護師等の現状数、今後の確保策について伺う。</p> <p>(9) 医療費の抑制、健康の維持増進について</p> <p>松江市の後期高齢者医療費用額は、H30 年度一人当たり県内では 5 番目に高い 946,058 円となっており、ここ 10 年くらい 90 万円以上であり、医療費の縮減は重要な課題である。</p> <p>市では、疾病の予防対策として、糖尿病予防など様々に取り組まれており、管理栄養士をはじめ専門家が対応されているようであるが、健診受診率の向上策、健診後の対応について市民周知が図られているかです。これらの施策について、啓発・周知の現状について伺う。</p> <p>(10) 保険財政を考えると後発医薬品の普及も欠かせない。平成 30 年 11 月診療分の後発医薬品は、後期高齢者医療では金額で 59.7%、数量で 79.3%、また、国保では金額で 56.1%、数量で 81.0%となっている。後発薬の利用推進策も大切なことであると思うが利用推進策について伺う。</p>				
2	介護について	<p>(1) 第 7 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画について</p> <p>急性期医療、回復期、慢性期を経て高齢の方は施設に入所される方が多い。</p> <p>サービス付き高齢者住宅が顕著に増加した印象があるが、松江市におけるサービス付き高齢者住宅の施設数、入所者数はどうなっているか伺う。</p> <p>次に特別養護老人ホームについて、第 7 期計画での施設整備の状況や、需要動向はどうなっているのか伺う。</p> <p>(2) 「第 8 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」について</p> <p>2020 年度は第 7 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の最終年である。</p> <p>第 7 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画を総括し、第 8 期計画の重点的課題は何か伺う。</p> <p>(3) 生産年齢人口が急激に減る状況にあって、介護現場の人材の確保が困難となっていないか。</p> <p>松江市だけでなく県、国を通しての課題と考えるが、介護人材の確保について現状と対策について伺う。</p>				

一 般 質 問 通 告 事 項 【 3 月 3 日 (火) 】 《 2 日 目 》

令和 2 年 第 1 回 松 江 市 議 会 定 例 会

順序	10	議員名	畑尾 幸生	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	3月 3日
質問項目	質問要旨					
3 松江市ガス事業経営検討(検証)委員会について	<p>(1) 「松江市ガス事業経営検討(検証)委員会」について、市民クラブの川井議員が、他市の判例も引きながら、違法性はないかについて質問を行った。</p> <p>その際、「有識者から意見を聞くだけの会なので条例に基づかない要綱での設置で問題はない。」としているが、委員会は4回開催され、昨年9月30日、ガス局長に対し報告書が提出されて終了した。</p> <p>ア 委員会について</p> <p>委員会運営について当局が違法性はないとして説明したが、「平成18年答申について有識者に意見を聞くだけ」の会であったのか。ガス局長に伺う。</p> <p>イ 他自治体における条例に基づかない委員会や懇談会などの設置について</p> <p>その違法性を審議した判例をみると「調停、審査、諮問または調査」を行う機関は、条例に基づく附属機関であり、条例に基づかない要綱や規則による設置は、違法との判断が多い。</p> <p>6月議会で「調停、審査、諮問または調査」を行う機関は法律や条例に基づく附属機関として、適正に設置していると答弁しているが、国語辞典を引くと「委嘱」は一定期間、特定の仕事を他の人に任せること」とあり、行政では、審議会・調査会などの委員に民間人やその行政機関に属さない公務員を任じることをいう。とあり、</p> <p>「諮問」とは「有識者または一定機関に意見を求めること」</p> <p>「審査」とは「詳しく調べて、適否、優劣、等級などを決めること」</p> <p>「検証」とは「実際に物事に当たって調べ、仮説などを証明すること」とある。</p> <p>ガス局長が委嘱した今回の委員会について、局長からの諮問に対し「調停、審査、諮問または調査」に該当することは行われなかったと思っているのか伺う。</p> <p>ウ 委員会の審議、議事録から</p> <p>委員会の議事録を見ると、事務局が作成した資料に、その適否や優劣を委員会として検証し判断している場面がたびたび出てくる。</p> <p>例えば、ガス局の現在の事業価値を算出した方法として、DCF法(ディスカウント・キャッシュ・フロー法)を用いることは、きわめて妥当な方式であると確認したので、この委員会としては妥当なものとして判断すると言ったようなところである。</p> <p>そして、局長も「事業価値の算出に用いたDCF法は、委員会から妥当だとの判断を頂いている。」と随所で説明している。</p> <p>こうした事実が、まさしく、ガス局長からの諮問に対し、委員会が審査・検証し、委員会として結論・方向性をだしているものであり、誰が見ても明らかに条例に基づく附属機関に該当すると思うが、ガス局長の見解を伺う。</p>					

一 般 質 問 通 告 事 項 【3月3日(火)】《2日目》

令和2年第1回松江市議会定例会

順序	10	議員名	畑尾 幸生	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	3月 3日
質問項目	質問要旨					
3 松江市ガス事業経営検討(検証)委員会について	<p>エ 委員会運営について</p> <p>昨年6月28日に開催された、第2回委員会において、委員会の会長は「局長から説明があったとおり、ここは皆さんの意見を聴取する、意見を聞くということなので、あえて私の方でまとめることはしません。」と説明している。</p> <p>しかし、最終回になった8月9日の第4回委員会で出された報告書(案)には、会長・副会長見解として、委員会の総意として取りまとめた。との報告書となった。</p> <p>委員会運営に、複数の委員から異議が出されたが、聞き入れられることはなく、最終、9月30日に提出された報告書に「委員の意見の一致を見た」として、委員会の提言ともとれる内容が報告されている。</p> <p>委員会の運営に関して、事務局であるガス局が、このような運営をするのであれば、最初から条例に基づく付属機関として、議会に諮って設置しなかったのか。そこでお尋ねするが、ガス局で委員会の設置を計画した段階において、条例に基づく付属機関とすべきか、または付属機関に該当しない程度の意見を聞く会だけとし、要綱・規則での設置とすべきか、その検討はなされたのかガス局長に伺う。</p> <p>オ 報告書について</p> <p>委員会の報告書では、今後の行政運営(ガス局の民営化)7項目にわたる松江市ガス事業の将来像について、委員会からの報告として記載されている。かつ、松江市ガス事業の今後の課題についても、委員会として方向性を示す内容の記載もある。</p> <p>特に、平成18年答申にはない。この新たに付け加えられた7項目にわたる松江市ガス事業の将来像については、1月15日にガス当局がHPに掲載した「市長発言要旨」と殆ど一致する内容である。</p> <p>これは、まさしく委員会報告が、市の重要施策の方向性について提言されたものであることの証明ではないか。このような実態からみても条例に基づく付属機関として、議会に諮るべきだったのではないかと、ガス局長に再度見解を伺う。</p> <p>カ 報告書に記載すべきでない事項</p> <p>「松江市ガス事業経営検討(検証)委員会」の報告書に記載されている「松江市ガス事業の今後の課題については」とか、「本委員会として、民営化に向かっての松江市ガス事業全体の将来像を示す」などの項目は委員会の権限の範疇を超えており、削除すべき。</p> <p>「今後の課題」や「ガス事業の将来像」は、委員会として提言したものではなく、ガス局の提示した内容について有識者が自由に意見を述べただけであり、委員会の報告書に記載すべきではないと考える。</p> <p>本来、ガス局の考え方として、ガス局の発行物に示すべき内容ではないかと考えるべきで、ガス局が考えた案に有識者からこういった意見があった。参考意見として掲載すべきではないか。ガス局長の見解を伺う。</p>					

一 般 質 問 通 告 事 項 【3月3日(火)】《2日目》

令和2年第1回松江市議会定例会

順序	10	議員名	畑尾 幸生	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	3月 3日
質問項目		質問要旨				
3	松江市ガス事業経営検討(検証)委員会について	<p>キ 付属機関を議会に諮って設置し議論をお願いすべきである。</p> <p>市長も局長も市議会全員協議会の場で「この検討委員会」から平成18年答申の民営化に関する3つの条件についてクリアできる状況になったと報告を受けた。併せて松江市ガス事業全体の将来像についても報告を頂いた」として委員会から民営化とあるべき方向性について示されたと説明されたが、こういった大事な判断を下す委員会は、議会に諮り、条例に基づいた付属機関で議論すべきではないか。市長の見解を伺う。</p> <p>ク 最後に、私はこの委員会自体を否定しない。「局長から広く意見を伺う場として設置しているので、違法性はない。安心して議論を進めて下さい。」と言われ、行政的には付属機関並みの権限はないが、付属機関並みの意見集約を強いられた委員の皆様にも非常に失礼なことだと思っているから、指摘したものである。</p>				
4	国連「家族農業の10年」に関して-農業振興地域整備計画条例-	<p>(1) 国連は、「家族農業の10年」とし、世界の食料安全保障と貧困撲滅に大きな役割を果たしている家族農業について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各国が家族農業に係る施策を進めるとともにその経験を他国と共有すること ・FAO(国連食糧農業機関)は各国等による活動計画の策定・展開を先導すること等を求めている。 <p>ア 松江市の家族経営体について</p> <p>国内の農業経営体の状況及び家族農業経営の状況は、経営体の割合としては97.6%、137万7千戸のうち134万4千戸となっています。松江市の家族経営体の戸数、割合について伺う。</p> <p>イ 家族経営体の生産割合、出荷額について</p> <p>松江市では家族経営体の生産割合と出荷額についての統計はあるか、伺う。</p> <p>ウ 家族経営体に対する振興策</p> <p>最近の農政は耕地の集約化に合わせ、集団営農化、法人化の推進などに取り組む方針と思われる。松江市ではこれらの動きと合わせ家族経営体に対する特別な取り組みがあるか伺う。</p> <p>エ 「松江市農山漁村地域活性化基本条例」の展開状況について</p> <p>平成24年「松江市農山漁村地域活性化基本条例」を制定したが、この条例は具体的な施策ではなく、宣言的な規定であると理解する。</p> <p>ただ、第9条で農山漁村地域活性化委員会の設置、基本計画に関する事項等を調査審議することとしている。以下、農山漁村地域活性化委員会について委員会の活動状況、検証結果と施策の具体的な調整が行われたか、具体的に市政にどう反映されたか、例を挙げて伺う。</p>				

一 般 質 問 通 告 事 項 【3月3日(火)】《2日目》

令和2年第1回松江市議会定例会

順序	10	議員名	畑尾 幸生	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	3月 3日
質問項目	質問要旨					
4 国連「家族農業の10年」に関して -農業振興地域整備計画条例-	<p>オ 農用地利用計画の見直しについて</p> <p>都市計画マスタープランを審議する際、農業振興策と土地利用、特に農地をどう活用するかなど色々意見が出た。今、都市計画審議会では市街化調整区域の緩和等が議論されている。今回「農用地利用計画の見直し」が検討され、農業の振興を図るべき区域を明らかにするため、しかも私権の制限を伴うことから、これまでの要綱による検討委員会から条例に基づく付属機関「松江市農業振興地域整備計画審議会」を設置する条例が提案されている。</p> <p>これから、都市計画マスタープラン等都市計画行政との連携・調整はどうされるか伺う。</p> <p>カ 農業生産の担い手、生産目標、特産化と数量の確保、販売先の拡大等について</p> <p>農地利用計画において農地の有効利用を図るうえで、農業生産の担い手、生産目標、特産化と数量の確保、販売先の拡大等総合的な観点からの検討が必要。</p> <p>この結果、コメ、野菜、果樹、花卉などの作物ごとの生産計画が必要と思う。</p> <p>現状を踏まえ、今後の計画についての方向性を伺う。</p> <p>キ 国の農業奨励策に対する対応について</p> <p>元年度補正予算、2年度当初予算では農水省が</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 農業経営基盤強化資金・スーパーL資金 (イ) 産地生産基盤パワーアップ事業 (ウ) 強い農業・担い手づくり総合支援交付金 (エ) 食料産業・6次産業化交付金 (オ) 「中山間地農業ルネッサンス事業」における優遇措置等 (カ) 多面的機能支払交付金 (キ) 環境保全型農業直接支払い交付金 (ク) 中山間地域等直接支払交付金 (ケ) 日本型直接支払 <p>以上掲げた、国の施策のうち松江市で取り組むものについて伺う。</p>					

順序	11	議員名	太田 哲	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	3月3日
質問項目	質問要旨					
1 SDGsと第2次総合戦略について	<p>(1) 松江市まち・ひと・しごと創生第2次総合戦略においてSDGsの理念を取り入れて取り組まれる理由を伺います。</p> <p>(2) SDGsについて研修会をされているのか、また今後、職員及び市民にどのように周知されるのか伺います。</p> <p>(3) 松江市として今後「SDGs未来都市」宣言して取り組まれるのか伺います。</p>					

一般質問通告事項【3月3日(火)】《2日目》

令和2年第1回松江市議会定例会

順序	1 1	議員名	太田 哲	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	3月3日
質問項目		質問要旨				
1	SDGsと第2次総合戦略について	(4) SDGsのアイコン(絵文字)を課や係の表示板、名刺などに今後、使用する考えがあるのか伺います。				
2	都市(児童)公園と公園愛護団について	(1) 現在の公園愛護団について、登録をされている団体と実際に作業状況を記録し報告書を提出し活動されている団体が同じか、また何団体あるのか伺います。 (2) 高齢化の為、愛護団が維持できなくなり解散されたところもあると聞いています。現状と今後の対策を伺います。 (3) 愛護団のよい事例の紹介、表彰など、また個人で頑張っている方を顕彰されるなど考えがあるのか伺います。 (4) みどりの基本計画(素案)では今後、公園協議会を導入されますが、構成メンバーと市の職員もはいるのか伺います。 (5) 公衆トイレの整備計画について伺います。				
3	就職氷河期世代の支援について	(1) 就職氷河期世代は松江市において対象の方は何人おられ、現状、困っている方は推計でどれくらいおられるのか伺います。 (2) 周知と支援の仕方はどのようにしていくのか伺います。 (3) 松江市として就職氷河期世代を正規職員として採用するお考えがあるのか伺います。				

順序	1 2	議員名	吉儀 敬子	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	3月3日
質問項目		質問要旨				
1	文化を核とするまちづくりについて	(1) まち・ひと・しごと創生第2次総合戦略の基本目標に掲げられた「文化を核とするまちづくり」について、市はどのようなビジョンをもっているのか。 (2) 松江の城下町文化は、現在も連綿と続いており、菅田庵の修復を機会に菅田庵の国宝化を目指し、さらに松江市の文化の創造・発展につなげるべきではないか。 (3) 第2次総合戦略では、松江の工芸「手仕事文化」に光が当てられた。 ア 連綿と続いてきた「手仕事」の一つに出雲民芸紙がある。 (7) 今や市内でわずか1件となった生産者は、人間国宝を輩出した出雲民芸紙を後世に伝えたいと、原料のミツマタを地元で栽培することを決意された。行政として、この生産者の決意を受け止め、支援することを、戦略として位置付けるべきではないか。 (4) 生産者が、素材にこだわって納得いく仕事をして、需要がなければ、後継者は育たない。販路拡大の支援として幹部職員が出雲民芸紙で名刺を作るとか、出雲民芸紙の賞状を市の催す式典で使う、新庁舎のロビーの壁紙として出雲民芸紙を使うなどの支援ができるのではないか。				

一 般 質 問 通 告 事 項 【 3 月 3 日 (火) 】 《 2 日 目 》

令和 2 年 第 1 回 松 江 市 議 会 定 例 会

順序	1 2	議員名	吉儀 敬子	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	3 月 3 日
質問項目		質問要旨				
1	文化を核とするまちづくりについて	<p>イ 松江市には、素晴らしい手仕事文化が存在していることを対外的に知ってもらうことが必要である。</p> <p>(7) 新庁舎の 1 階にギャラリーを設け、日本伝統工芸展など権威のある展示会で優秀な成績を得た市内在住の作品を展示して、市民の目に触れる機会をつくるべきではないか。</p> <p>(4) 工芸品の販路拡大には、行政が全国・世界を相手に販路拡大の支援をする力をつけるべきではないか。</p>				
2	電磁波対策について	<p>(1) 電磁波に対する日本の規制は、外国に比べあまりにも緩く、電磁波過敏症に苦しむ人への対策もなしに等しい。市として、電磁波の住民生活への影響についてどのように認識しているのか。</p> <p>(2) 携帯電話の無線基地として日吉台サニーハイツ内の公園に鉄塔を立てる計画を、業者は公園を管理する市に許可を得ることもなく、関係住民に「無線基地局を設置いたします」と回覧するということが行われた。</p> <p>市は、仮に業者が先に市に許可を願い出た場合、電磁波の影響が基準内であれば許可するのか。少なくとも業者に住民説明会を開かせること、公園内には許可しない、山に立てる場合も、住宅地が近接している場合は許可しないなどのルールを確立すべきではないか。</p>				
3	日の丸バス路線廃止について	<p>(1) 日の丸バス路線廃止により東出雲町地内の 9 号線を走るバスが、全くなくなるため、東出雲町民や東出雲町の事業所に通勤する人々にとって、驚き・落胆をもって受け止められている。</p> <p>ア この路線は、障がい者が多く利用する。市は車いすで乗車する利用者もいることなど、実態をつかんでいるのか。実際の利用者に対してアンケート調査をするなど、実態を把握したうえで代替バスをどのように走らせるのか検討したのか。</p> <p>イ 代替バスは、安来市のイエローバスにお願いするとのことだが、本来市バスを走らせるべきではないか。</p>				
4	東出雲公民館と複合施設建設について	<p>(1) 市は複合施設建設に関して一昨年 11 月に、複合施設は保健相談センターエリアに建てること、現在の支所とふれあい会館は壊して更地にし、その土地を住宅地として売ることを明らかにした。なぜ保健相談センターなのか、保健相談センターに建てるほうが支所とふれあい会館エリアに建てるより安いという理由なのか、町民に対して全く説明がない。</p> <p>ア 保健相談エリアなら道路拡幅と駐車場確保の経費が必要となるはずであり、それらも含めて保健相談エリアでの建設費用をいくらと見積もっているのか。</p> <p>イ 支所とふれあい会館には、建設時に鉄のパイルが地中に埋め込まれているはずだが、どのような太さのものが何メートルの深さに何本埋められているのか。</p>				

一般質問通告事項【3月3日(火)】《2日目》

令和2年第1回松江市議会定例会

順序	1 2	議員名	吉儀 敬子	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	3月3日
質問項目	質問要旨					
4	東出雲公民館 と複合施設建設 について	ウ 支所もふれあい会館も耐震基準を満たしていないとのことだが、耐震の程度を示す IS 値はそれぞれいくらの数値を示しているのか。 エ 支所とふれあい会館を壊す費用と地中のパイルを抜く費用をいくらと見積もっているのか。				

順序	1 3	議員名	新井 昌禎	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	3月3日
質問項目	質問要旨					
1	新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響と対応について	(1) 中国・湖北省武漢市を発生源とする新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっている。政府の専門家会議では、現在の発生状況は「国内発生の早期」との認識を確認し、不要不急の外出を控えるよう呼びかけた。今回の感染症は、発症しても多くは重症にいたらないが、2%程度とされる致死率は決して低いとはいえない。現時点で特効薬も存在しないため、不特定多数の参加者が集まるイベントは、自主的に延期・キャンセルされている。このことは、日本国内の経済活動にも大きな影響を与えている。現在、島根県内および松江市内で感染者は報告されていないが、地域の観光産業や製造業への影響は避けることは出来ない。現時点で、地域経済にどのような影響が発生しているのか、また、これから想定されるのか伺う。 (2) 景気の後退や新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響が長期化した場合、地域経済を下支えする公務部門の政策対応は、欠くことはできない。現在、「第3次松江市行財政改革大綱」を策定しているが、足元の経済情勢が大きく悪化した場合は、躊躇することなく、緊急的かつ積極的な財政支援が必要になると思うが所見を伺う。 (3) アメリカの一部の経済学者が唱えている MMT (現代貨幣論) が何かと話題になっている。日本経済は、少子高齢化が進む中、消費の縮小と民間投資の減少が予想されており、政府が積極的に借金をして公共投資を増やし、地域の公共資産を増やすことも必要だと思う。松江市を中心とする中海・宍道湖・大山圏域には、公共投資による高速道路網や新幹線の整備など未来をひらく交通ネットワークの形成がまだまだ必要である。圏域が一体となった国への取り組み強化策について伺う。				
2	創造性を育む教育 ICT 環境実現への取り組みについて	(1) 1月30日に成立した国の令和元年度補正予算において、教育 ICT 環境「GIGA スクール構想」の実現経費が盛り込まれた。学校における高速大容量のネットワーク環境と、義務教育段階における1人1台のPC端末環境の整備について、令和5年度までの実現を目指すこととしている。松江市も、11月定例会において教育 ICT 環境の整備について決定しているが、「GIGA スクール構想」とは、どの様なもので、環境整備の標準仕様について伺う。 (2) 「GIGA スクール構想」の整備にかかる費用とその負担割合、市内全ての小中学校を対象とした整備スケジュールを伺う。また、教育の技術革新ともいえる教育 ICT 環境の整備によって、どの様な効果が期待できるのか伺う。				

一般質問通告事項【3月3日(火)】《2日目》

令和2年第1回松江市議会定例会

順序	13	議員名	新井 昌禎	(個人質問) (一問一答方式)	質問日 (予定)	3月3日
質問項目		質問要旨				
2	創造性を育む 教育 ICT 環境実現 への取り組みに ついて	<p>(3) 教育 ICT 環境整備は、手段であり目的ではない。子ども達が、ICT を適切・安全に使いこなすことが重要になる。そのためには、新学習指導要領を着実に実施していくとともに、教育課程や教員免許、教職員配置の一体的な見直しや、教員の ICT 活用指導能力の向上、情報モラル教育をはじめとする情報教育の充実など、ハード・ソフト両面での教育改革が必要になる。合わせて、民間企業等からの支援・協力も必要になると思うが、教育長の所見を伺う。</p> <p>(4) 教育現場の様々な課題解決に向けた事業は、文部科学省だけでなく、総務省や経済産業省においても実施されている。つまり、松江市においても、教育委員会だけでなく、市長部局との連携も必要である。萩生田文部科学大臣のメッセージでは「1人1台のPC 端末環境は、マストアイテムであり、この実現には各自治体の首長のリーダーシップが不可欠である」と述べられている。教育現場の課題解決および教育 ICT 環境の実現に向けた松浦市長の所見を伺う。</p>				
3	見守り・支え合 いの仕組みの強 化策 (見守りカメ ラ等の設置) につ いて	<p>(1) 高齢者や障がいのある人等配慮が必要な人が、住み慣れた地域でいつまでも安心・安全に暮らしていくためには、地域で「共助」による見守り・支え合いの仕組みを作ることが重要である。現在、登録している活動団体の数と世帯のカバー率について伺う。また、未整備の地域でこの事業を進めるための今後の取り組み方針について伺う。</p> <p>(2) 近年、ICT を活用した見守りカメラ等の設置は、高齢者や障がいのある人の見守りだけでなく、子ども達の見守りサービスとしても全国各地で広がりを見せている。兵庫県加古川市では、行政と複数の民間事業者が取り組む官民協働事業として実施しているが、見守りカメラ等の設置に対する松江市の所見を伺う。</p>				